



奉行 *AI* エージェント

ロゴデザイン マニュアル



はじめに

本「奉行AIエージェントロゴデザインマニュアル」は、奉行AIエージェントのブランドを社内はもとより、お客様や社会全般に対して、正しく伝え、統一したイメージを作っていくために必要な視覚表現のデザインルールが記載されています。

本マニュアルを適正に活用し、奉行AIエージェントのブランドイメージの継続的発信にお役立てください。

INDEX

奉行AIエージェント

① ブランドロゴ

- | | | | |
|-----|------------------|-----|------------|
| 1-1 | バリエーション | 1-2 | カラー |
| 1-3 | 不可侵領域 (アイソレーション) | 1-4 | 最小サイズ |
| 1-5 | 使用禁止例 | 1-6 | シンボルマークの使用 |

② サービスロゴ

- | | |
|-----|-------------------------|
| 2-1 | 奉行AIエージェント 新リース会計識別クラウド |
| 2-2 | 奉行AIエージェント 連結会計支援クラウド |

奉行AIエージェント

①

ブランドロゴ

奉行AIエージェント バリエーション

「和文 横型」をメインロゴとして使用しますが
ツールの形状、スペースなど状況に応じて他のロゴを使用してください。

メイン		サブ	
和文横型	和文天地型	和文縦型	
			

1-2

奉行AIエージェント カラー

下記で定めているカラー以外の使用を禁止します。

カラー



モノクロ



C:0 M:0 Y:0 K:0
R:255 G:255 B:255

C:0 M:0 Y:0 K:16
R:227 G:227 B:228

C:0 M:0 Y:0 K:20
R:220 G:220 B:220

C:0 M:0 Y:0 K:80
R:89 G:88 B:88

C:0 M:0 Y:0 K:88
R:69 G:66 B:66

C:0 M:0 Y:0 K:92
R:58 G:54 B:53

C:0 M:0 Y:0 K:80
R:89 G:88 B:88

C:0 M:0 Y:0 K:0
R:255 G:255 B:255

C:0 M:0 Y:0 K:44
R:171 G:171 B:172

C:0 M:0 Y:0 K:20
R:220 G:220 B:220

C:0 M:0 Y:0 K:80
R:89 G:88 B:88

C:0 M:0 Y:0 K:80
R:89 G:88 B:88

C:0 M:0 Y:0 K:80
R:89 G:88 B:88

C:0 M:0 Y:0 K:80
R:89 G:88 B:88

C:0 M:0 Y:0 K:0
R:255 G:255 B:255

C:0 M:0 Y:0 K:20
R:220 G:220 B:220

C:0 M:0 Y:0 K:20
R:220 G:220 B:220

C:0 M:0 Y:0 K:80
R:89 G:88 B:88

C:0 M:0 Y:0 K:80
R:89 G:88 B:88

C:0 M:0 Y:0 K:80
R:89 G:88 B:88

C:0 M:0 Y:0 K:80
R:89 G:88 B:88

C:0 M:0 Y:0 K:100
R:0 G:0 B:0
DIC:582
PANTONE: Process Black C

単色での使用

単色(1色)でしか表現できない場合
黒、白、シンボルマークの色での
使用のみ可能です。

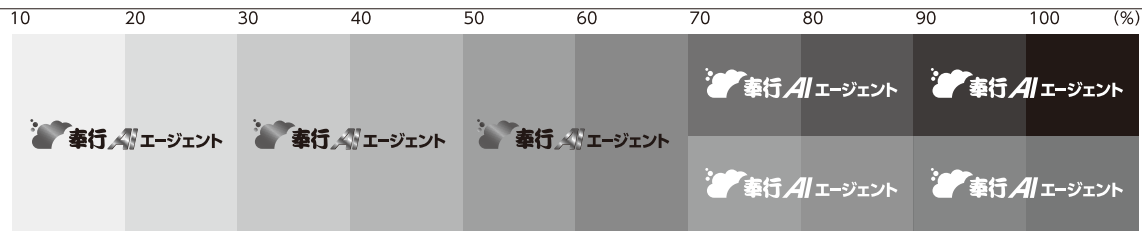


C:61 M:52 Y:49 K:0
R:120 G:120 B:120
DIC:653
PANTONE: 424C

ブランドカラーを
単色で表現する際は
こちらの色を
使用してください。

背景濃度によるロゴの色指定

基本、右記のように使い分けますが、
背景の色やトーンによって視認性は
変わりますので、ロゴの視認性を考
慮して使用してください。



背景色がロゴのクラウド部分の色と
近い場合、すべて白抜きで表現する

1-3

奉行AIエージェント

不可侵領域
(アイソレーション)

ロゴの視認性確保とイメージを損なわず保つために、どのロゴの周りにも
余白=不可侵領域(アイソレーション)を設けてください。上記のように、「シンボルマークの天地の
サイズの半分の長さ」を不可侵領域(アイソレーション)として設けることを基本とします。



1-4

奉行AIエージェント

最小サイズ

指定されているサイズを最小サイズとします。
下記よりも小さいサイズでの使用は視認性の確保が難しいため使用を禁止します。



奉行AIエージェント

使用禁止例

下記は一例です。
ブランドのイメージを損なう表現はできません。



タテやヨコの比率を変倍させる。



変形させる。



フォントの変更、ウェイトの変更。



組み方、バランスの変更。



指定されていない色への変更。



濃度の変更。



ロゴの一部と認識できるほど近くに他の要素を加える。



複雑な背景の上に配置。

奉行AIエージェント

シンボルマークの使用

「シンボルマーク」のみを単体で利用することも可能です。

ただし、「シンボルマーク」と同じ媒体において、奉行AIエージェントの「ロゴ」を必ず利用し、初めて見た人でも、シンボルマークが奉行AIエージェントを指すことがわかるように利用すること。ロゴのイメージを損なわない範囲の使用が可能です。

ロゴ



例) カタログの
表紙にシンボルマークを使用
裏表紙でロゴを使用

奉行AIエージェント

②

サービスロゴ

2-1

奉行AIエージェント バリエーション

新リース会計識別
クラウド

「和文 横型」をメインロゴとして使用しますが
ツールの形状、スペースなど状況に応じて他のロゴを使用してください。

A 和文横型（メイン）	B 和文天地型（2 段）
	
C 和文天地型（3 段）	D 和文縦型
	

奉行AIエージェント バリエーション

連結会計支援
クラウド

「和文 横型」をメインロゴとして使用しますが
ツールの形状、スペースなど状況に応じて他のロゴを使用してください。

A 和文横型（メイン）	B 和文天地型（2 段）
	
C 和文天地型（3 段）	D 和文縦型
	